

地域協働推進事業業務委託



(一社)北海道開発技術センター

1. 業務の内容

(1)モビリティ・マネジメントの実施

地域が協働して公共交通を維持していくため、各主体に対するモビリティ・マネジメントを実施する。本年度は、生徒・児童を対象としたモビリティ・マネジメントの教材（授業用のスライド、小中学生用動機付け冊子、副教材）の作成、及び市内の小学校1校を対象として『「交通」と「環境」に関する学習』についての授業を開講する。

また、次年度以降の大学生、企業・病院向けの動機付け冊子の作成等の準備作業を実施する。

(2)地域におけるバスの乗り方出前講座及びワークショップの実施

対象地域において、地域住民の公共交通利用を促すため、路線バス・デマンド交通についての出前講座（乗り方など）、路線バスの体験乗車、及び体験乗車後の行動変容を把握するためのワークショップを一連のものとして実施する。

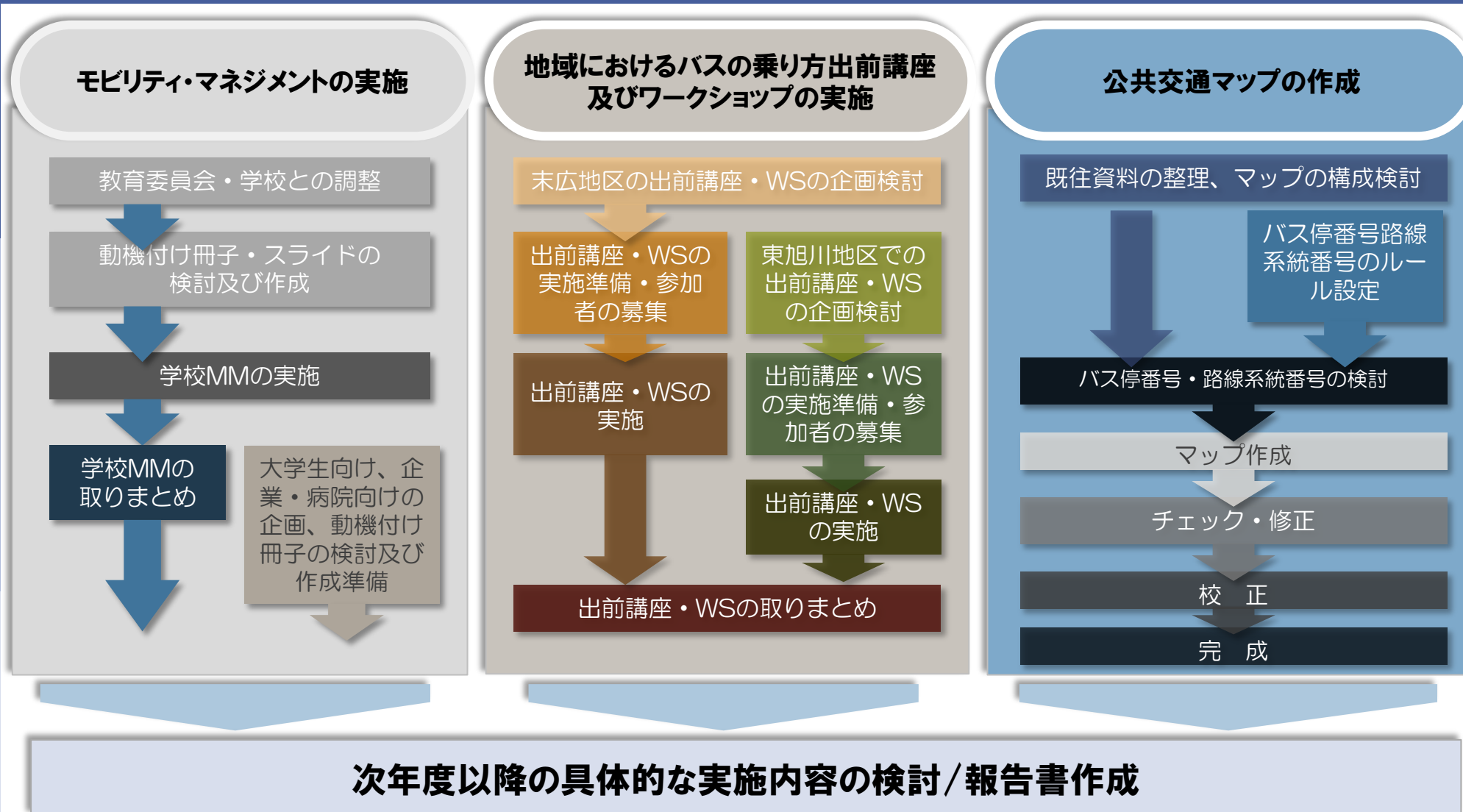
具体的には、国道40号沿線の末広地域、乗合タクシーが運行する東旭川地域を対象として、各1回実施する。

(3)公共交通マップの作成準備

旭川市内の全世帯配布に向け、全バス路線、全バス停を掲載した公共交通マップの作成準備を行う。

具体的には、利便性の高い公共交通マップの校正を検討し、2012年版公共交通マップと現状との相違点、及び今後、公共交通マップに影響を与える情報を収集、整理する。

2. 業務フロー



3. (1) モビリティ・マネジメントの実施

ア. 本年度行うモビリティ・マネジメントの企画について

① 学校MMの実施

学校におけるモビリティ・マネジメント（MM）については、初等教育においての実施が、児童の態度・行動変容のみならず、保護者の態度・行動変容も期待できることが、これまでの研究事例により明らかとなっていることから、小学生を対象として実施する。

・実施小学校（案）：実施小学校については、北海道教育大学附属旭川小学校の協力を仰ぎ実施することを予定。

・実施内容（案）：【高学年の場合】

自動車と環境問題の関係性や自動車の費用・事故リスク・健康について、また、公共交通機関への乗り方等についての説明を行う。さらに、乗車体験や行動プラン立案シートを用いることで、公共交通利用の実行意図の形成を図る。

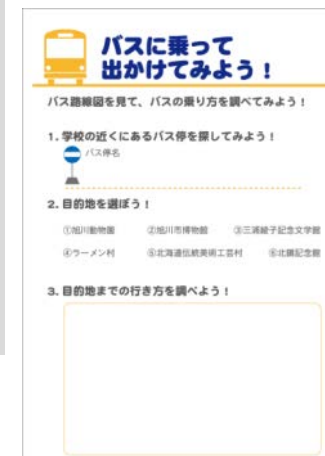
【低学年の場合】

公共交通についての説明や交通すごろくの実施、乗車体験などを通じて公共交通を身近に感じるよう働きかける。

・実施時間（案）：3時限程度



▲実施イメージ



▲行動プラン票のイメージ

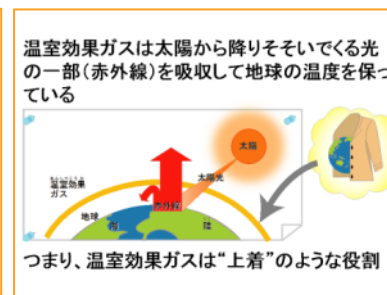
3. (1) モビリティ・マネジメントの実施

ア. 本年度行うモビリティ・マネジメントの企画について

② 学校MMのプログラム(案)

【高学年向け学習プログラム(案)】

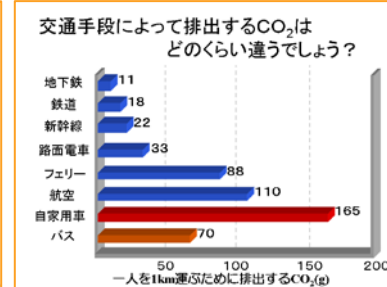
内容	使用素材	時間
1.かしこいクルマの使い方 <ul style="list-style-type: none"> ・クルマと環境 ・クルマの費用 ・クルマと健康 ・クルマの事故 2.今すぐできる「かしこいクルマの使い方」 <ul style="list-style-type: none"> ・トリップチェーン ・カープール ・パーク&ライド 	スライド	45分
3.乗車体験 <ul style="list-style-type: none"> ・事業者の出前講座、乗車方法を学ぶ 	路線バス	45分
4.バスで出かけてみよう！ <ul style="list-style-type: none"> ・バス停を探す ・目的地を選ぶ ・目的地までの行き方を調べる 	行動プラン票 バスマップ	45分



費用のはなし
問題:クルマだと、一日に何円ぐらいかかると思う？

- ・車両本体
- ・保険
- ・車検
- ・車税
- ・駐車場代
- ・ガソリン代
- ・メンテナンス

小さいクルマ	1日 約2,000円
大きいクルマ	1日 約4,000円
フェラーリ	1日 約15,000円



▲スライドイメージ



▲乗車体験学習のイメージ

3. (1) モビリティ・マネジメントの実施

ア. 本年度行うモビリティ・マネジメントの企画について

②学校MMのプログラム(案)

【低学年向け学習プログラム(案)】

内容	使用素材	時間
1.クルマと環境 ・地球温暖化について	スライド	45分
2.公共交通について ・自動車やバスなどを紹介		
3.乗車体験 ・事業者の出前講座、乗車方法を学ぶ	路線バス	45分
4.交通すごろく体験 ・交通すごろくを使って、バス路線や移動手段について学ぶ	交通すごろく	45分



▲スライドイメージ



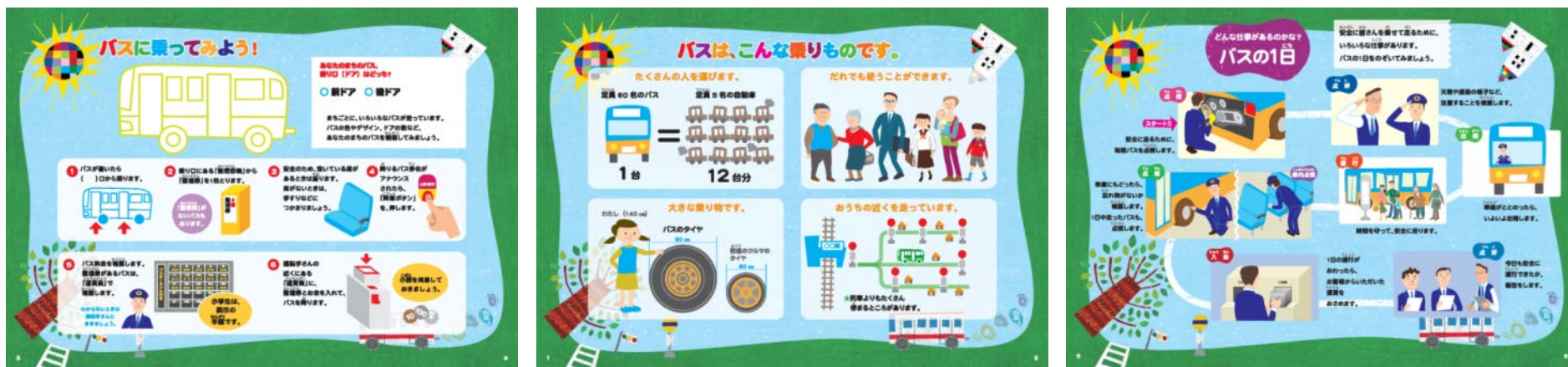
▲あさひかわ交通すごろく

3. (1) モビリティ・マネジメントの実施

ア. 本年度行うモビリティ・マネジメントの企画について

③ 動機付け冊子(案)

公共交通の利用が少ない要因としては、“利用したことが無い”または、“公共交通の乗り方自体を理解していない”ことが予想されることから、分かりやすい公共交通の乗り方について情報提供を実施する。



▲動機付け冊子イメージ

④ 副教材(案)

前述した授業で用いるスライドの内容を冊子としてまとめ、家庭に持ち帰りが出来る資料を副教材として作成・提供する。

3. (1) モビリティ・マネジメントの実施

I. 次年度以降の企画案とそのための準備について

① 大学生向けの動機付け冊子及びスライドの企画案

行動変容を促しやすいタイミングとしては、生活環境（ライフスタイル）に変化があるときに行うのが効果的とされるため、新入生を対象とした動機付け冊子及びスライドを制作する。構成としては、自動車利用抑制及び公共交通利用の行動意図の形成を図る上で有効と考えられる内容とする。また、効果を高めるため新入生オリエンテーション時に、スライドで説明し、公共交通マップと共に配布することを想定する。

【対象】 新入学生

【実施時期】 4月上旬頃

(新入生オリエンテーション時に実施)

【仕様】 (冊子) A4 8ページ程度
(スライド) パワーポイント資料15頁程度

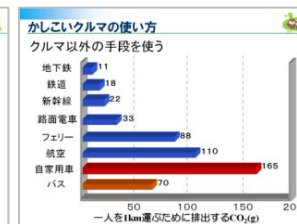
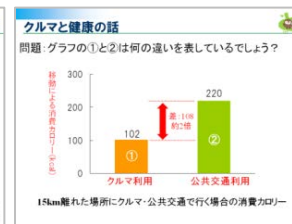
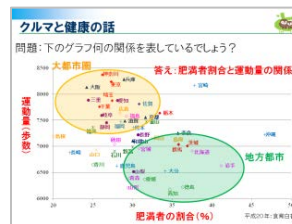
【内容】 ・かしいクルマの使い方

- ①クルマと環境
- ②クルマの費用
- ③クルマの事故
- ④クルマと健康

- ・乗り方
- ・料金の目安
- ・所要時間
- ・バスで行ける主な施設
(公共施設・商業施設・遊興施設など)
- ・概略バスマップ



▲冊子イメージ





▲スライドイメージ

3. (1) モビリティ・マネジメントの実施

I. 次年度以降の企画案とそのための準備について

②企業・病院向けの動機付け冊子の企画案

企業・病院向けとしては、従業者や通院患者の一人ひとりの自動車からの態度行動変容を促す必要があるため、“事実情報提供法”や“アドヴァイス法”、“行動プラン法”等のMMの技術的手法を適宜、組み合わせるTFP（トラベル・フィードバック・プログラム）の実施を想定する。そのため、本年度はコミュニケーションツールとして事実情報を提供する動機付け冊子の作成準備を実施する。

コミュニケーション手法	コミュニケーションツール	目的・内容	制作物イメージ
事実情報提供法	①バスマップ・時刻表	市内バスマップ・時刻表の情報提供により、公共交通利用の実行意図の形成を図る。	
	★本年度作成 ②動機付け冊子	過度なクルマ利用による環境負荷や事故リスクなどの情報提供により、対象者の自動車利用抑制及び公共交通利用の行動意図の構成を図る。	
アドヴァイス法	交通診断カルテ&個別公共交通ご利用ガイド	アンケート調査結果を受け、各対象者に個別的に公共交通情報を提供する。提供する情報としては、職場への公共交通での行き方と最寄りバス停や、そのバス停の時刻表を提供する。	

3. (2) 地域におけるバスの乗り方出前講座及びワークショップの実施

◆出前講座・ワークショップの基本的な考え方

地域住民を対象に公共交通に関するワークショップを実施する場合、まずは、対象の住民に公共交通を理解してもらうことが必要と考えられる。そこで、路線バス・乗合タクシーの乗車体験を行い路線バスや乗合タクシーについての理解を深める。さらに、講座及びワークショップを実施することで、実際の路線バス・乗り合いタクシーの利用に繋がるものと考えられる。

また、出前講座やワークショップ内容は参加する年齢層・地域・生活シーンに合わせ、行動変容に効果的な内容にするとともに、交通サービス水準の向上への意見・アイデアを収集する。



末広
地区

路線バス
乗り合いタクシー
についての出前講座



米飯
地区

路線バス
乗り合いタクシー
乗車体験



公共交通に関する
ワークショップ



▲ワークショップ・出前講座の基本的な進め方

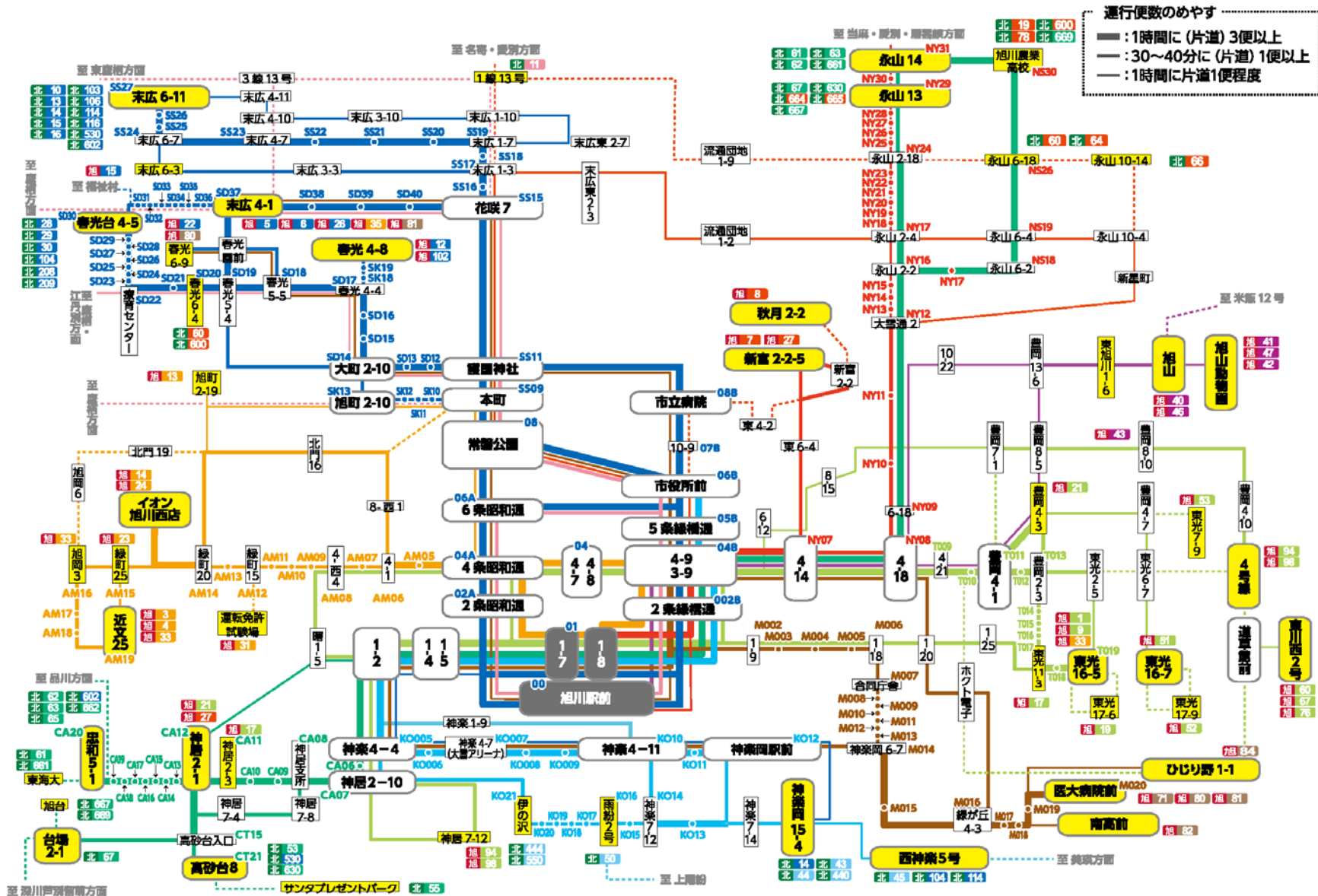
3. (3) 公共交通マップの作成準備

◆バス停留所番号のルール設定

- 主要系統が通過する各停留所に設定するバス停番号は、方面別記号を1文字目とした2文字のアルファベット（以下、バス停記号）と2桁の数字を用いて表記する。また、特に主要となる路線の数字が通し番号となるよう配慮し、分岐する停留所からバス停記号のみを付け替え、極力通し番号とするよう配慮する。
- 来街者が多く利用する空港連絡バスの中心部停留所にも付記し、番号と条数が同じになるよう考慮する。
- 但し、路線が交差している区間や複数の経由地がある場合は、飛び番とする。

方面名	終点方向	記号	備考
末広・春光・春光台方面	末広	SS	
	春光	SK	
	春光台	SD	
新富・秋月・永山・当麻・愛別・層雲峡方面	新富・秋月	NA	
	永山裏町	NU	裏町の「U」
	永山2条	NY	山の「Y」
	永山6条	NS	6 (six) の「S」
	永山10条	NT	10 (ten) の「T」
東旭川（旭山）方面	旭山	YZ	動物園 (zoo) の「Z」
東光・豊岡方面	東光	TK	光の「K」
	豊岡	TO	岡の「O」
緑が丘・旭川医大・空港方面	緑が丘	MO	丘の「O」
神楽・神楽岡・西神楽方面	神楽・神楽岡・西神楽	KO	岡の「O」
神居・忠和・高砂台方面	神居	CK	神居の「K」
	忠和	CA	和（母音“あ”）の「A」
	高砂台	CT	高砂台の「T」
大町・旭町・近文方面	旭町	AA	旭の「A」
	旭岡	AO	岡の「O」
	緑町	AM	緑の「M」
中心部（旭川駅～常盤公園間）	旭川駅	—	00番
	昭和通	—	番号+A
	緑橋通	—	番号+B

3. (3) 公共交通マップの作成準備



3.(3) 公共交通マップの作成準備

◆ ばすのりコンシェルとの連動

- バスマップへのQRコードの掲載



- バスのりコンシェルの簡易な使用方法の掲載



3. (3) 公共交通マップの作成準備

